

令和元年度学校評価 (1:そう思う 2:まあそう思う 3:あまりそう思わない 4:思わない) ※質問項目は、対象者により表現をかえています。		肯定的評価の割合 (4段階中、1・2の割合)				自己評価		学校関係者 評価	
		教職員 (59人)	生徒 (595人)	保護者 (282人)	生徒 保護者計 (877人)	今年度 R1	参考 H30	今年度 R1	参考 H30
1	学校長の経営理念のもと、共通の認識・理解を持ち、さらなる特色づくりを推進している。	72.4%	59.8%	52.2%	57.4%	B	B	B	B
2	地域の人々や、中学生に本校の取組み(特色)を積極的にアピールしている。	84.7%	61.0%	50.2%	57.6%	B	A	B	B
3	習熟度別授業・分割授業等、きめ細かい指導を継続することで、基礎・基本の定着を図っている。	96.5%	57.2%	62.7%	58.9%	A	A	B	B
4	「シラバス」に沿った授業の展開と、分かりやすい授業の展開に努めている。	86.0%	67.6%	67.0%	67.4%	A	A	A	A
5	学年(担任)とより密接に連携を深めながら、生徒指導上の問題解決に努めている。	94.8%	35.9%	61.6%	44.2%	A	A	B	B
6	保護者や関係機関と連携し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。	98.3%	51.0%	51.8%	51.3%	A	A	B	B
7	生徒・保護者に適切な資料提供等を行い、早い時期から意識を高める取組みを行っている。	96.5%	68.1%	66.5%	67.6%	A	A	A	A
8	就職希望者への適切な指導を行うとともに、積極的に求人確保に努めている。	96.5%	74.8%	69.2%	73.1%	A	A	A	A
9	生徒会活動・部活動等、課外活動の活性化に努めている。	82.8%	66.6%	68.0%	67.1%	B	A	B	A
10	HR活動を中心に、各学年に応じた、生徒が自主的に取り組める学校行事の充実に努めている。	73.7%	47.5%	65.6%	53.3%	B	B	B	B
11	「図書館だより」の発行や、図書館企画・特別展示等の取組みによって、学校図書館の活用を進める。	91.5%	71.3%	68.9%	70.6%	A	A	A	A
12	教科(10分間読書等)・科目・学校行事との連携により、読書意欲の喚起に努めている。	86.2%	84.6%	63.5%	77.9%	A	B	A	B
13	生徒の安全管理と疾病予防に努めるとともに、事故、ケガ、病気の発生時に適切に対処している。	98.3%	62.7%	72.1%	65.7%	A	A	A	A
14	教育相談等を通じて、真摯に個々の生徒の課題に対応している。	100.0%	52.3%	67.5%	57.2%	A	A	B	B
15	お互いを理解し、豊かな人間関係の結べる生き生きとした仲間づくりに努めている。	89.7%	57.5%	68.4%	60.9%	A	A	B	A
16	教職員の現地研修等を積極的に行い、地域に根ざした人権研修を行っている。	93.1%	71.2%	67.8%	70.1%	A	A	A	A
17	ゴミの徹底した分別に全校で取り組み、省資源・リサイクルの重要性について指導している。	76.3%	84.1%	74.6%	81.1%	B	A	B	A
18	環境問題を学校生活の中に取り入れて教えている。	65.5%	57.7%	60.1%	58.4%	B	B	B	B
19	校内コンピューターネットワーク整備により、情報管理意識の高揚に努めている。	80.4%	64.2%	62.5%	63.7%	B	A	B	A
20	文書管理を徹底するとともに、「報告」「連絡」「相談」に努めている。	87.5%	53.2%	61.9%	56.0%	A	A	B	A
21	PTAと連携を深め、各種活動を活性化している。	91.2%	58.2%	56.2%	57.6%	A	A	B	A
22	各種研修会や公開授業等、学校独自の取組みにより開かれた学校づくりに努めている。	91.2%	59.7%	66.8%	62.0%	A	A	B	A

今年度、学校の重点目標に基づいて正確に評価できるよう、また主観に委ねることなく具体性を伴って評価できるよう、さらに現代的・社会的課題に対し多様化する価値観を反映した学校評価になるよう、学校評議員による会議の意見を踏まえて改善を図りました。積極的な情報発信に努め、学校の現状や取り組みを説明するとともに、本校における教育活動の成果と課題を明らかにし、地域社会と課題意識を共有することにより、学校運営への参画を促進し共通理解の基に社会に開かれた学校づくりを進めていきます。

- ① 多様化・複雑化する教育環境に対応するため、校内外の連携・協働を図り、現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実に取り組む。
- ② いじめを許さない学校づくりに向けて、生徒が互いのことを認め合い、心のつながりを感じることができるよう、生徒自らが主体的に取り組む活動を推進する。
- ③ 「校内研究授業週間」の取り組みを中心に、「学びの変革」発展プロジェクトを踏まえた授業研究体制を充実・活性化させ、全ての教員の授業力の向上を目指す。
- ④ 学校と地域が目指すべき教育のビジョンや課題・情報等を共有し、学校と地域社会の双方向による連携・協働により社会全体で生徒を育てる環境を整える。
- ⑤ 学校の教育活動全体を通じて質の高い教育を提供できるよう、滋賀県が推奨しているSDGsの視点を生かした取り組みをする。